

2010 年度コレクション展

コレクション名品選 描かれた人々 女と男

小企画 「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 -



神中糸子《はるの像》1894 年

会期等 平成 22 (2010) 年 11 月 20 日 (土) ~ 平成 23 (2011) 年 3 月 13 日 (日)
休館日：月曜日 12 月 31 日 (金) ~ 1 月 11 日 (火) は年末年始・メンテナンス休館
開館時間：午前 10 時 ~ 午後 6 時
特別展開催中の金・土曜日は夜間開館午後 8 時まで 入場は閉館の 30 分前まで

観覧料 一般 500(400) 300 円 / 大学生 400(320) 240 円 / 高校生・65 歳以上 250(200) 150 円
中学生以下無料
()内は 20 名以上の団体割引料金、 内は特別展セット割引料金
障害のある方とその介護の方 1 名は各観覧料金の半額 (65 歳以上除く)

主 催 兵庫県立美術館

小企画展協力 京都市立芸術大学美術学部

兵庫県立美術館では、前身の兵庫県立近代美術館時代より 40 年近く作品収集を行い、収蔵された作品数は 8000 点以上に及びます。当館 1 階と 2 階の展示室で開催される「コレクション展」では、年 3 度の展示替えを行いながら、コレクションの名品を様々なテーマに分けて紹介しています。

この度の 2010 コレクション展 では、当館が所蔵する代表的な作品を展覧する「コレクション名品選 描かれた人々 - 女と男」を開催します。展示室 1 と展示室 3 の二室を使い、日本の近現代美術に登場する様々な女性像を特集します。また、展示室 2 では日本の近現代美術に登場する男性像を、展示室 4 では西洋の近代彫刻および版画に見られる様々な人物像を取り上げます。

さらに、今回のコレクション展では、同時開催の小企画として「「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 - 」を展示室 6 にて開催します。

当館の多彩なコレクションをお楽しみください。

展示内容

展示室 1・3 コレクション名品選 女その 1 (出品点数約 80 点)

人間、特に女性の姿を表現することは、多くの芸術家にとって重要な関心事であり続けました。ここでは、明治から現代にいたるまでの日本の近現代美術に登場する様々な女性像約 80 点を、いくつかのテーマに分けて紹介します。



神中系子《はるの像》1894 年



横尾忠則《美空ひばり》1966 年

展示室 2 コレクション名品選 男 (出品点数約 20 点)

日本の近現代美術に登場する様々な男性像約 20 点をご覧ください。



青山熊治《満州の男》1911 年

展示室 5 海外の近・現代彫刻 / 安藤忠雄コーナー (出品点数約 10 点)

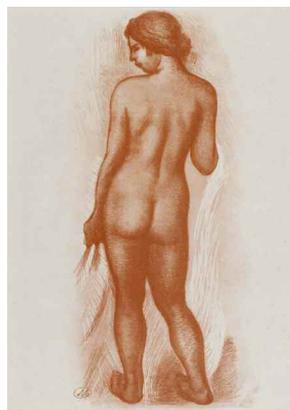
近代彫刻の祖ロダンから現代のシーガルまで彫刻約 10 点を展示します。また、当館の建築を設計した安藤忠雄による震災復興プロジェクトなどの紹介コーナーも併設。

展示室 4 コレクション名品選 女その 2 (出品点数約 25 点)

マイヨール、フォートリエ、ムーアなど、彫刻と版画というふたつの異なるメディアによって、主に女性像を中心とする人間の表現を追及した海外作家を特集します。



アリスティド・マイヨール
《コウベのディナ》1943 年



アリスティド・マイヨール
《愛の技巧 12》1943 年

小磯良平記念室 (出品点数約 20 点)

神戸生まれの近代洋画の巨匠、小磯良平(1903-1988)。画壇へのデビュー作《T嬢の像》や戦時中に描かれた《斉唱》といった代表作を中心に展示します。



小磯良平《T嬢の像》1926 年

金山平三記念室 (出品点数約 20 点)

神戸生まれの風景画の名手、金山平三(1883-1964)。《大石田の最上川》をはじめ、四季折々の美しい日本の自然を描いた作品を展示します。

展示室 6 「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 - (出品点数約 80 点)

詳細は別紙のプレスリリースをご覧ください。

関連事業

スペシャルトーク + 関連作品上映会

森村泰昌氏（美術家）×小吹隆文氏（美術ライター）

2010年12月12日（日）14：00～15：30

ミュージアムホールにて（230席）聴講無料

当日11：00より整理券配布

兵庫県立美術館 [芸術の館] 友の会との共催事業 / 会員向け優先予約有

学芸員によるギャラリートーク

2011年1月29日（土）コレクション名品選について（岡本弘毅・当館学芸員）

2011年2月19日（土）「森村泰昌の小宇宙」展について（江上ゆか・当館学芸員）

いずれも16：00～（約45分）要観覧券

こどものイベント「凧をつくってあげよう」

1月16日（日）10：30～15：30

先着30名（保護者含む、12月18日10:00から電話078-262-0908にて受付開始）

ミュージアムボランティアによるガイドツアー

会期中毎週金・土・日 13：00～（約45分）

同時開催

ザ・コレクション・ヴィンタートゥール スイス発 知られざるヨーロッパ・モダンの殿堂
～12月26日（日）まで 企画展示室

森村泰昌 なにものかへのレクイエム - 戦場の頂上の芸術

平成23（2011）年1月18日（火）～4月10日（日） 企画展示室

林勇気展

平成23（2011）年2月18日（金）～3月19日（土） 最終日は17:00まで

ギャラリー棟1階アトリエ1

お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【コレクション名品選 企画内容に関すること】 担当学芸員 岡本 弘毅、飯尾由貴子

【「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 - 企画内容に関すること】

担当学芸員 江上 ゆか、出原 均

TEL:078-262-0909（直） FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

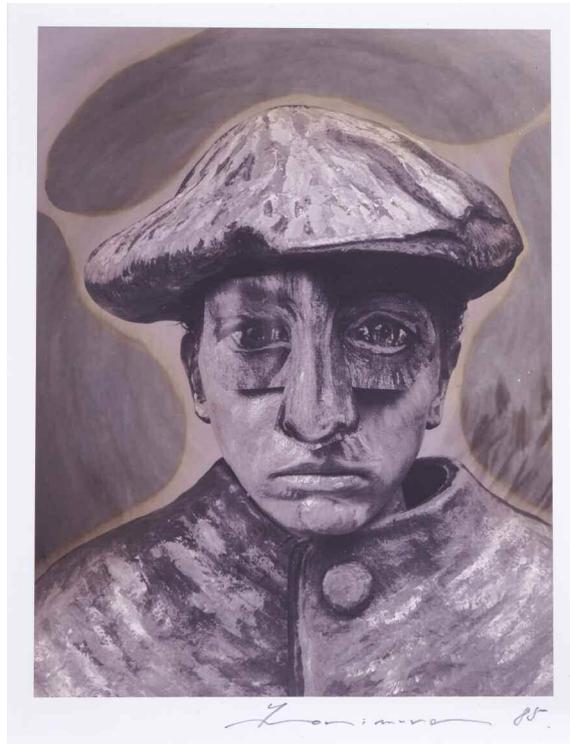
TEL:078-262-0905（直） FAX:078-262-0903

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

2010 年度兵庫県立美術館コレクション展 小企画

「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 -



《カミーユ・ルーラン（セビア）》1985 年

- 会 期 等 平成 22（2010）年 11 月 20 日（土）～平成 23（2011）年 3 月 13 日（日）
（平成 22 年度コレクション展 と同時開催）
休館日：月曜日 12 月 31 日（金）～1 月 11 日（火）は年末年始・メンテナンス休館
開館時間：午前 10 時～午後 6 時
特別展開催中の金・土曜日は夜間開館午後 8 時まで 入場は閉館の 30 分前まで
- 会 場 兵庫県立美術館 常設展示室 6
- 協 力 京都市立芸術大学美術学部

【企画の概要】

名画の登場人物や映画女優に自らが扮するセルフポートレイトの写真作品で知られる美術家、森村泰昌（1951 年大阪生まれ）。関西を拠点に国際的な活躍を続ける、人気と実力を兼ねそなえた現代作家です。

兵庫県立美術館では、来たる 2010 年 11 月 20 日より 2011 年 3 月 13 日まで、2010 年度コレクション展の小企画展として、森村の個展「「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 -」を開催いたします。当館が近年収蔵した森村作品 72 点を軸に、ある美術蒐集家がコレクションした作品約 80 点により、他所では見ることのできない森村の「その他」の魅力に触れていただける貴重な機会です。

また会期中には、関連作品の上映会を兼ねて、関西随一の現代美術ウォッチャーである美術ライター小吹隆文氏と出品作家森村泰昌氏による対談を開催いたします。

[本展のみどころ]

知られざるコレクションを初公開。

2006 年度、兵庫県立美術館は 72 点の森村作品を一括収蔵しました。これらは森村の熱心なファンでコレクターの O 氏が蒐集したものです。会場には、さらに追加出品を加えた約 80 点を展示。知る人ぞ知るコレクションを、はじめて一堂に展示します。

他所では見られない「その他」の魅力。

O 氏コレクションには、手焼きプリントによる小品や「書」、オブジェなど、他所ではなかなか目にするることのできない珍しい作品が多く含まれています。これらは森村の美術史や女優をテーマとする代表的な大型作品と比べると、「その他」と位置づけられてしまうものかもしれません。しかし、こうした例外的な作品であればこそ、自由で実験的な表現も可能です。そこには作家の本質が思わぬかたちで現れてもいるでしょう。

最新作による個展と同時開催。

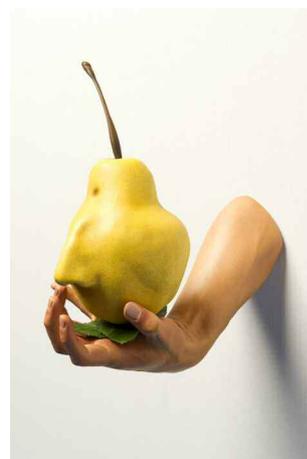
こうした「その他」の作品と「主要」な作品の総体こそが作家の全体像であり、それらは互いに不可分なものと言えます。当館では同時期に企画展示室にて、森村の新作シリーズによる個展「森村泰昌 なものかへのレクイエム - 戦場の頂上の芸術」を開催いたします。ぜひあわせてご覧いただき、森村の多面的な魅力に触れていただきたいと思います。



《たぶらかし B スペシャル》1987 年



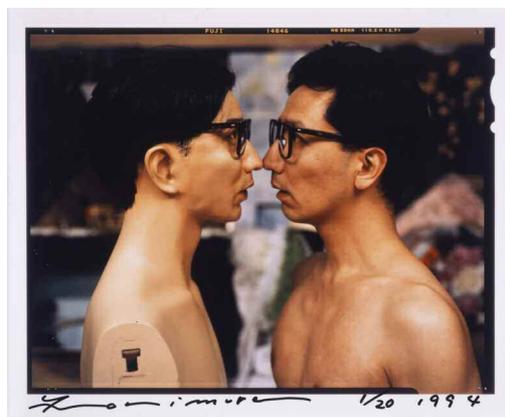
《ポートフォリオ「足」ASHI》1995 年



《鼻つき洋梨と手 月曜日》1992 年



《壺》1992 年



《人と人形(対話)》1994 年

森村泰昌（もりむら・やすまさ）略歴



1951年大阪生まれ、京都市立芸術大学卒業。

1985年、ゴッホの自画像に自らが扮するというセルフポートレートによる写真作品を発表。1988年、「ヴェネツィア・ビエンナーレ・アペルト'88」に出品、以後、国内外で多数の展覧会に参加。

古今東西の名画を題材にした美術史シリーズ、往年の名画女優による女優シリーズなどの写真作品を中心に、一貫してセルフポートレートの表現を追求。また映画や演劇にも出演。著作も多い。

公式ホームページ 森村泰昌芸術研究所 <http://www.morimura-ya.com/>

関連事業

・スペシャルトーク+関連作品上映会

森村泰昌（美術家）×小吹隆文（美術ライター）

12月12日（日）14：00～15：30 ミュージアムホールにて（230席）聴講無料

当日11：00より整理券配布

兵庫県立美術館 [芸術の館] 友の会との共催事業 / 会員向け優先予約有

・学芸員によるギャラリートーク

2月19日（土）16：00～（約45分）展示室にて 要観覧券

関連書籍

- ・本展のカタログをかねた書籍が以下のとおり刊行される予定です。

『「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙』

11月下旬 Akio Nagasawa Publishing より発行予定 予価 1890円

森村泰昌氏と担当学芸員によるテキストのほか、

出品全作品のカラー図版および森村氏本人による作品解説を収録。

同時開催

- ・ザ・コレクション・ウィンタートゥール

スイス発 知られざるヨーロッパ・モダンの殿堂

～12月26日（日）まで 企画展示室

- ・森村泰昌 なにものかへのレクイエム - 戦場の頂上の芸術

平成23（2011）年1月18日（火）～4月10日（日） 企画展示室

- ・林勇気展

平成23（2011）年2月18日（金）～3月19日（土） 最終日は17:00まで

ギャラリー棟1階アトリエ1

お問合せ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】

企画担当学芸員 江上ゆか・出原均

TEL:078-262-0909（直） FAX:078-262-0913

e-mail egami@artm.pref.hyogo.jp（江上）

【取材・写真提供に関すること】

営業・広報グループ

TEL:078-262-0905（直） FAX:078-262-0903

コレクション名品選 描かれた人々 女と男

小企画 「その他」のチカラ。 - 森村泰昌の小宇宙 -

営業・広報グループ 宛
F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	森村泰昌《カミーユ・ルーラン(セピア)》1985 年
2	森村泰昌《たぶらかし B スペシャル》1987 年
3	森村泰昌《ポートフォリオ「足」ASHI》1995 年
4	森村泰昌《鼻つき洋梨と手 月曜日》1992 年
5	森村泰昌《壺》1992 年
6	森村泰昌《人と人形(対話)》1994 年
7	神中糸子《はるの像》1894 年
8	横尾忠則《美空ひばり》1966 年
9	青山熊治《満州の男》1911 年
10	アリスティド・マイヨール《コウベのディナ》1943 年
11	アリスティド・マイヨール《愛の技巧 12》1943 年

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。